

図書館だより

2014年7月9日(水)

第3号 田辺工業高校図書館発行



著者紹介 池井戸潤 [イケイドジュン]

1963年岐阜県生まれ。慶應義塾大学卒業。
1988年三菱銀行(当時)に入行。1995年、同行を退職。
1998年『果つる底なき』で第44回江戸川乱歩賞を受賞し、小説家デビュー。
1998年『果つる底なき』で第44回江戸川乱歩賞を受賞。
2010年『鉄の骨』で第31回吉川英治文学新人賞を受賞。
2011年『下町ロケット』で第145回直木賞受賞。

「池井戸潤」祭

映像化が次々されている池井戸潤さんの小説作品特集です。

銀行が舞台です

『不祥事』

トラブルを抱えた支店を回って指導する若手ホープ花咲は、事務と人間観察の名手。歯に衣着せぬ言動で、歪んだモラルと因習に支配されたメガバンクを蹴り上げる!



銀行が舞台です

『オレたちバブル入行組』

給料もポストも減り、逆境にさらされても一銀行員よ、顔を上げろ! 融資課長・半沢直樹の意地と挑戦を描く痛快長篇。



銀行が舞台です

『ロスジェネの逆襲』

銀行の系列子会社に出向中の主人公の半沢直樹はまたも責任を問われて窮地に。しかし半沢は部下の森山雅弘とともに、周囲をアツといわせる秘策に出た—



『オレたちバブル入行組』
『オレたち花のバブル組』

続編

下町の工場が舞台です

『下町ロケット』

自分で設計したエンジンでロケットを飛ばすことが佃製作所社長、佃航平の夢。しかし、資金不足にライバル企業の特許侵害問題など佃製作所、まさに崖っぷち。最後にスカッと笑えます。



自動車会社との対決

『空飛ぶタイヤ』

走行中のトレーラーのタイヤが外れて歩行者の母子を直撃した。その責任を押しつけられた運送会社社長の赤松徳郎。真相を追及する赤松の前は大企業の妨害。危機的状況下、絶望しかけた赤松に記者・榎本が驚愕の事実をもたらす。



建設会社の談合がテーマ

『鉄の骨』

「次の地下鉄工事、何としても取って来い」でも談合って犯罪ですよ? 謎の日本的システムの中で奔走する、若きゼネコンマン平太の行末は一—



新着案内

産業

祝！世界遺産

ベスト新書

『富岡製糸場と絹産業遺産群』

今井 幹夫【編著】
(富岡製糸場総合研究センター所長)



当初「富岡製糸場」に入る工女（女性授業員）は「生き血をとられる」という風評被害がありました。それはなぜ？

小説

『豆の上で眠る』

湊かなえ【著】

小学生の時の姉失踪事件。今も妹の心には違和感が。お姉ちゃん、あなたは本物なの？
「価値観」を激しく揺さぶる長編ミステリー。



地学

『南海トラフ巨大地震』

一歴史・科学・社会』

石橋 克彦【著】

都市型震災の脅威を『大地動乱の時代』で予見し、自ら造語した“原発震災”の警鐘を鳴らし続けてきた地震学者が「地震に強い社会」を根底から問う。



イラスト

『すみっこぐらし ここがおちつくんです』

よこみぞゆり

すみっこで暮らす、すみっこたちの生活をのぞいてみませんか？



小説

『光秀の定理（レンマ）』

垣根 涼介【著】

永禄3（1560）年、京の街角で三人の男が出会った。食い詰めた兵法者・新九郎。辻ばくちを職業とする謎の坊主・愚息。そして名家の出ながら落ちぶれ、その再起を図ろうとする十兵衛…後の明智光秀その人であった。



心理学

『面白すぎて時間を忘れる心理テスト』

中嶋 真澄【著】

コンプレックス、世渡り上手度、二重人格度、サバイバル能力…今まで隠していた「秘密」が暴かれてしまうかも！



小説

『講談社文庫 怪談』

柳 広司【著】

よく知っている怪談の現代バージョン。現代の片隅で起きている、不可解で奇妙な出来事。驚愕唾然の結末に背筋が凍る！



小説

『それでも僕は夢を見る』

水野 敬也【著】/鉄拳【画】

ベストセラー「夢をかなえるゾウ」の水野敬也とパラパラ漫画家鉄拳のタッグ。しっとり泣けてほんわか温かくなれる、珠玉の一冊です。



雑学

『おかんメール』

『おかんメール』制作委員会【編】

かわいい娘へ。いとしい息子へ。母の愛と破壊力に満ちた“爆笑”メッセージ集！

